

214年

建安十九年（漢）

皇帝

劉協（漢獻帝）

皇后

伏寿（琅邪郡東武県・父の伏完は不其侯、桓帝の娘陽安公主を娶る）（廢后）

三公（漢）

魏公：曹操

太傅：空席

丞相：曹操（前司空）

御史大夫：?慮（前光祿勳）

太尉：廢止

司徒：廢止

司空：廢止

その他の要職（漢）

太常：

光祿勳：

衛尉：

太僕：

廷尉：

大鴻臚：

宗正：

大司農：

少府：

大將軍：？

驃騎將軍：？

車騎將軍：？

衛將軍：？

地方官

冀州牧：曹操

主な事件

- ▶ 建安十九年夏四月、旱魃。《後漢書孝獻帝紀》

五月、雨水。《後漢書孝獻帝紀》

- ▶ 劉備が劉璋を破り、益州に拠る。《後漢書孝獻帝紀》
- ▶ 冬十月、曹操は、将の夏侯淵を遣わして、枹罕県（金城郡）に宋建を討ち、之を捕らえる。《後漢書孝獻帝紀》
- ▶ 十一月丁卯、曹操は皇后の伏氏を殺し、その族及び皇子二人を滅ぼす。《後漢書孝獻帝紀》
注に引く山陽公載記に曰く、劉備は蜀で之を聞いて喪を發した。
- ▶ この年、曹操の娘曹憲、曹節、曹華は貴人となる。《後漢書皇后紀獻穆曹皇后》

誕生者

死没者

- ▶ 伏皇后諱壽：董承の娘が貴人であったが、曹操は董承を誅すと董貴人も殺した。皇后は恐れ父の伏完に宛てて曹操殘逼の書?を書いたが、父の伏完は発しなかった。建安十九年事は漏れ、曹操は皇帝に迫って廢后し、暴室に下され幽閉。二皇子を生んでいたが、皆毒殺された。在位二十年。兄弟及宗族の死者は百余人。母の盈等十九人は琢郡に移された。《後漢書皇后紀獻帝伏皇后》

[PAGE TOP](#)

[213](#) < [年](#) > > [215年](#)